

立憲民主党 岩手県総支部連合会



〒020-0022
盛岡市大通三丁目1番24号
第三菱和ビル5F
TEL.019-625-7852



X



Instagram

りっけん いわて 県連通信 No.06

2024.6.18号

… 知事への緊急要望に対し6月補正予算実現 …



2024.5.14 大槌漁港調査

沿岸部の大雪・強風・波浪被害の復旧費、 17億4,500万円（6月県議会計上予定）

5月11日、岩手県議会6月定例会の概案説明会があり、一般会計補正予算に総額20億3,600万円の補正額が示されました。中でも、2月の沿岸部を襲った大雪・強風・波浪被害の復旧費として、17億4,500万円が計上されることになりました。

沿岸部の13市町村では、2月下旬の大雪・強風・波浪により、農業用パイプハウスや防波堤の損壊、ワカメやコンブ等の養殖施設など甚大な被害があり、被害総額は41億円以上となっています。立憲岩手県連と会派希望いわては5月14日に現地調査を実施し、漁業者や地元自治体等と意見交換を行いました。

その後5月26日に達増知事に対し緊急要望を行い早期の対応を求めました。今回の補正予算では農林水産業の再開に向けた支援や、港湾などの復旧に17億4,500万円が計上され、迅速な対応をいただきました。

R6年度一般会計補正予算の主なもの		
補正区分	補正金額	内容
（第1号、専決処分）	5億5,000万円	豚熱発生の防疫措置
（第2号、6月定例会提案予定）	20億円	①大雪、強風、波浪被害の復旧経費等17億4,500万円 ②能登半島地震に係る職員派遣経費等2,000万円 ③経営者保証非提供促進資金貸付金 2億7,100万円

平和環境岩手県センターと政策懇談会 5/11

県議会6月定例会の議案説明会を受け、労組と推薦議員団との政策懇談会が行われました。



働き方改革と言うものの超過勤務が改善されない実態、教職員配置の少なさ、燃料高騰の公共交通への影響、地方財政拡充要望…など現場の声をいただきました。

岸田政権の支持率最低ながら、沖縄県議選で玉城知事派大敗。立憲岩手も奮起しよう …

時事通信社の6月世論調査によると、岸田内閣の支持率は16.4%。政治資金規正法や減税の対応でも国民批判を受けての結果です。しかし、自民党批判と地方選挙は別の要素も多く、私たちも敵失だけで選挙に勝つことは厳しいのも現実です。沖縄県議選（定数48）では、玉城知事の県政与党が20議席となり大敗。立憲は2議席減で今後の県政運営の厳しさが予想されます。この結果からも、地域での私たち立憲民主党の取り組みが問われています。立憲岩手は、「人が真ん中・岩手をいかす」をスローガンに「8つの立県」の政策を示し、地方から「政治を国民の手に取り戻す」取り組みを強化します。

8つの立県のポイントなどは、次号から連載予定